

2024年度 町田市立南大谷小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和7年3月31日

学校教育目標 ○よく考えて行動する子ども ○思いやりのある子ども ○明るく元気な子ども ○未来を拓く子ども	学校経営の重点 地域・保護者との連携を深め、地域の人材や施設、専門家等の人材を生かし、体験的学習を一層進めることにより学習意欲を伸ばし、主体的に学習に取り組む態度を育てる。
○目指す学校像……教職員・保護者・地域が丸一となって、将来、地域社会や社会の担い手として活躍できる児童を育てる学校 ○目指す児童・生徒像……急速に変化する社会の中で、直面する様々な問題を解決しながら、たくましく、心豊かに生きることが出来る児童 ○目指す教師像……それぞれが自己啓発を行い能力を高め続け、結果して公教育の使命を果たしながら、地域社会の信頼に応える教師	重点目標の成果と課題 地域人材の活用については、今までの実績情報の共有を図ったことで、より適切に学びに生かすことができるようになった。一方で、単元を通して伴走型で関わる協働活動の実現はまだ難しかった。双方向の関わりをさらに推進していく必要がある。今後も校内研究を軸にしてさらに、主体的な学びを追究し、実践していくことが課題である。

[illegible]

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)	成果指標評価基準	学校関係者評価の評価基準例
取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A	成果指標平均 80%以上⇒評価A	A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B	成果指標平均 70%以上⇒評価B	B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C	成果指標平均 55%以上⇒評価C	C⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D	成果指標平均 55%未満⇒評価D	D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。